



小川南小児童が
長泉寺で茶道を体験

卒業の自覚と心構えをもち、日本の伝統文化を体験してもらおうと2月2日、小川南小の6年生9名が長泉寺（白久）で茶道を体験しました。町茶道愛好家3名から茶道の歴史や思いやり、感謝の気持ちといった「茶道のこころ」を伝授され、お手前を見学しました。その後、客、お運び、見学の3班に分かれて指導を受けました。

児童たちは、長時間の正座で足がしびれた様子でしたが、積極的に作法の質問をしながら、お菓子やお茶を味わいました。

20種類の野鳥を観察
薬利小で全校探鳥会

13回目を迎えた冬の恒例行事「全校探鳥会」が2月7日、薬利小学校で開催されました。

最初に、日本野鳥の会会員の河内さんから、「鳥は恐竜から姿を変えて生き残った動物」であり、「地球のあらゆる環境に適応できる生物」であるとの説明を受けました。また、「これから、自分たちの生まれたところをどう守らなければならないかを考えてほしい」と話していました。

児童たちは4班に分かれて、約1時間30分にわたり学校周辺で双眼鏡を手にバードウォッチングを楽しみました。今年は、ノスリやカワラヒワなど20種類の野鳥を観察することができました。



第32回明日を築くよ子の集い

32回目を迎えた「明日を築くよ子の集い」が2月3日、馬頭総合福祉センターで開催されました。

子どもたち自ら積極的に活動し、それが評価される優良子ども会表彰や地区子ども会育成成功労者が表彰されました。表彰式終了後は、小口子ども会などの活動発表がありました。

また、アトラクションとして「ユニット・てみ」による琴、ピアノ、フルートによる共演「悠久の調べコンサート」が行われ、約150人の町民がクラシックなどの演奏に聞き入りました。

なお、表彰された方々は次のとおりです。（敬称略）
○優良子ども会表彰
小口子ども会
和見子ども会
北向田子ども会

○子ども会育成会功労者表彰
薄井 稔（小口）
小高 信雄（和見）



大般若節分会

暖かな日となった2月3日、馬頭の乾徳寺で大般若節分会が行なわれました。今回は30回の記念大会となるため、大般若600巻大転読も行なわれました。

境内には、約600人が手に袋などをもち、特設ステージの周りを取り囲みました。午前11時40分、追難ガラマキが始まると参拝者は、今年の福を求めて福豆やお菓子を取ろうと精一杯手を伸ばしていました。



小川卓球スポーツ少年団女子チーム
県選手権で優勝

2月12日、鹿沼市体育館で行われた県ホープス卓球選手権1部で小川卓球スポーツ少年団女子Aチーム（川上愛可さん、豊田真望子さん、星あさみさん（6年）、関春香さん（5年））は予選リーグで河内クラブなどにすべて3対0のストレート勝ちで決勝トーナメントに進出。決勝では華卓会Aに3対2で競り勝ち、見事優勝しました。また、2部に出場のBチーム（杉本真由さん、角田実佑季さん（4年）、安藤加織さん、山崎真衣さん（3年））も健闘し、2位となりました。



なお、11月に行われた個人戦のダブルスでは、川上、豊田組が決勝まで1ゲームも落とさない完全優勝を成し遂げ、星、関組も3位に入賞するなど、輝かしい成績を収めました。

学生版画コンクール表彰式
町長賞に佐藤くん



第2回那珂川町学生版画コンクール表彰式が2月15日、広重美術館研修室で行なわれました。

このコンクールは、子どもたちが、版画に親しみ、その良さを知ってもらうと開催されているものです。応募総数は891点で、過日行われた審査会で町長賞以下127点の作品が選ばれました。

町長賞に選ばれた佐藤真也君は、「騎馬戦で勝った時をイメージしました。騎馬に乗っているのが自分です。細い線に気をつけながら彫りました。賞をもらえてうれしかったです」と話していました。

八溝路をたすきでつなく
なすみなみ若鮎駅伝

那須烏山市と那珂川町をたすきでつなく「第5回なすみなみ若鮎駅伝競走大会」が2月25日、大桶運動公園を発着点に全長25km（6区間）で行われました。県内外のクラブチーム30チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

レースは最初から上位を保持していた「よろしく真岡です」が4区で首位に立ち、1時間18分28秒の好タイムで優勝しました。

那珂川町からの主な出場チームの結果は次のとおりです。

- 5位 小川那珂クラブA
- 12位 馬頭ゆりがね会
- 20位 小川那珂クラブB
- 25位 吉野工業所AC-A



スタートを切り元気よく駆け抜ける選手たち



小川那珂クラブAのみなさん



繰り上げによるスタート



第4区中継所で